

社 会 資 本 総 合 整 備 計 画

二日市地区都市再生整備計画(第1回変更)

令 和 8 年 2 月

(参考様式2) 社会資本総合整備計画

令和7年 月 日

重点配分対象の該当

計画の名称		二日市地区都市再生整備計画										重点配分対象の該当													
計画の期間		令和7年度～令和11年度（5年間）				交付対象		筑紫野市																	
計画の目標																									
		大目標 社会の変化に対応した安心と交流を育む都市基盤の形成 目標1：少子高齢化、人口減少時代における地域社会の基盤を担う活力ある地域コミュニティの形成 目標2：市民生活と事業活動を支える 強靱かつしなやかな地域づくりの推進 目標3：郷土愛を育み、新たな交流人口を創出する回遊性に優れた魅力ある滞在空間の創出																							
計画の成果目標（定量的指標）																									
		・地域主体のまちづくり進捗度を65.3%（R5）から73.3%（R11）に増加 ・防災・減災対策の満足度を87.4%（R6）から90.0%（R11）に増加 ・観光入込客数を1,547千人（R4）から1,597千人（R11）に増加																							
定量的指標の定義及び算定式																									
		定量的指標の現況値及び目標値																							
		当初現況値 中間目標値 最終目標値																							
		(R4～R6) (R9) (R11)																							
市民アンケートにより「地域（コミュニティ、行政区等）においてまちづくりが進められている」と回答した人の割合		65.3 70.1 73.3																							
市民アンケートにより、「防災・減災対策に満足している（満足・どちらかと言えば満足、普通）」と回答した人の割合		87.4 87.4 90.0																							
市観光入込客推計調査による観光入込客数		1,547 1,557 1,597																							
全体事業費		合計 (A+B+C+D)		2,774.4百万円		A		2,774.4百万円		B		0 百万円		C		0 百万円		D		0 百万円		効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)		0.0%	

交付対象事業

A 基幹事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
A-1	都市再生	一般	筑紫野市	直接	筑紫野市	二日市地区都市再生整備計画	道路、高次都市施設等		R7	R8	R9	R10	R11	2,774.4			
合計																	

B 関連社会資本整備事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
														0			
合計																	

C 効果促進事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
合計														0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									R2	R3	R4	R5	R6			
合計														0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考

交付金の執行状況

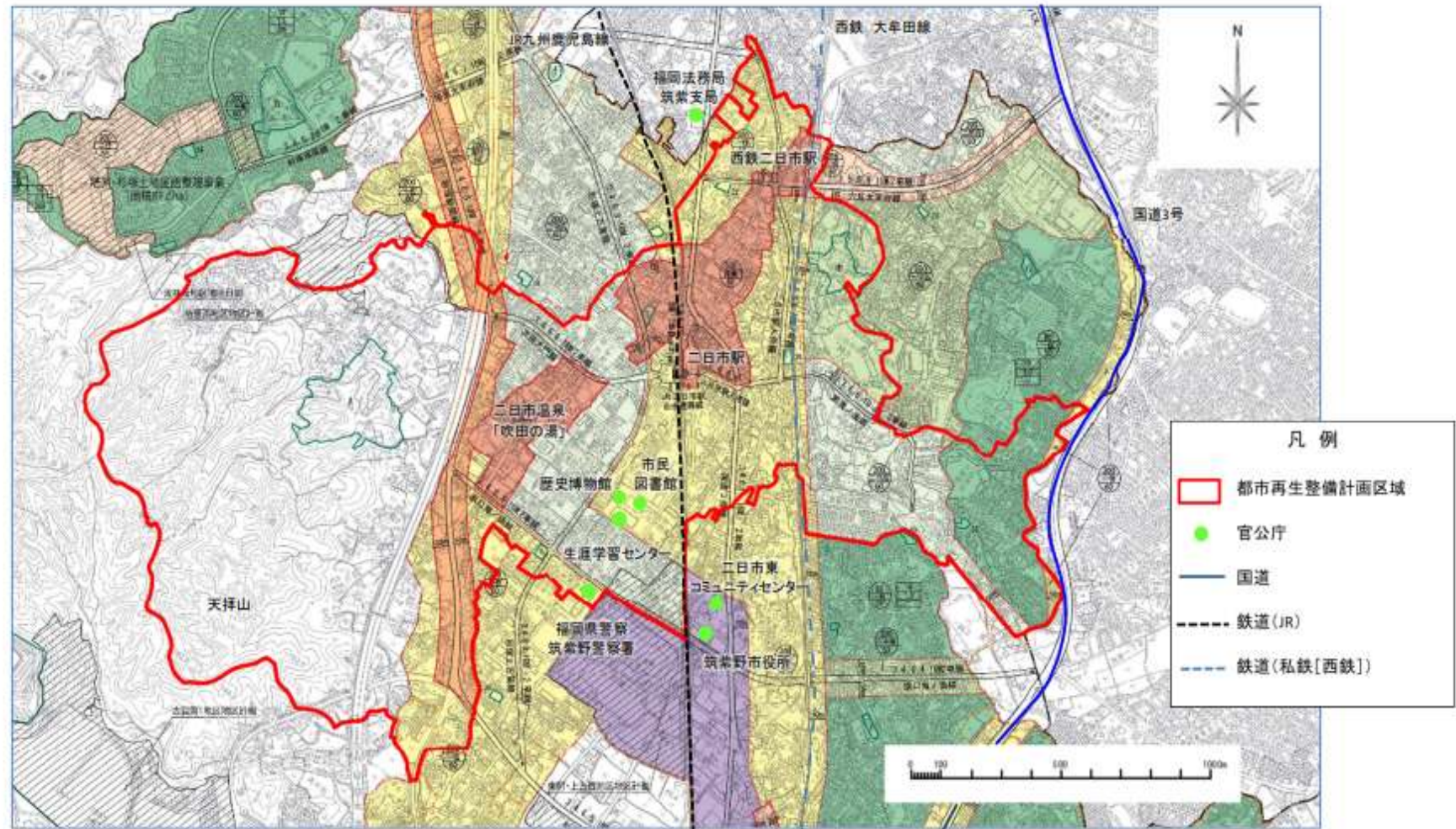
(単位：百万円)

	R07				
配分額 (a)	18				
計画別流用増 減額 (b)	13				
交付額 (c=a+b)	31				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	31				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考様式3)

社会資本総合整備計画 参考図面

計画の名称	二日市地区都市再生整備計画	交付団体	筑紫野市
計画の期間	令和7年度～令和11年度(5年間)		



都市再生整備計画

ふつかいち
二日市地区(第1回変更)

ふくおか ちくしの
福岡県 筑紫野市

令和8年2月

事業名	確認
都市構造再編集支援事業	☐
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	☒
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	☐
まちなかウォーカブル推進事業	☐

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	福岡県	市町村名	筑紫野市	地区名	ふつかいち二日市地区	面積	395	ha
計画期間	令和7年度～令和11年度	交付期間	令和7年度～令和11年度					

目標
大目標 社会の変化に対応した安心と交流を育む都市基盤の形成
目標1：少子高齢化、人口減少時代における地域社会の基盤を担う活力ある地域コミュニティの形成
目標2：市民生活と事業活動を支える 強靱かつしなやかな地域づくりの推進
目標3：郷土愛を育み、新たな交流人口を創出する回遊性に優れた魅力ある滞在空間の創出

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 本市の人口は、市制施行から一貫して増加基調にあり、令和5年度末時点では106,451人と昭和47年4月の市制施行時(40,096人)の約2.6倍に至っている。人口の増加、さらには、都市化の進展、市民の価値観の多様化、生活圏域の拡大等に伴い、住民相互の交流機会は減少し、従来の地縁、血縁に基づく連帯意識や帰属意識が希薄しつつある。人口が増加する一方、全国的な傾向と同様に高齢化率は上昇の一途を辿っており、昭和50年の7.4%から令和5年には26.4%と19ポイント増加し、超高齢社会に突入している。 このような少子高齢化、人口減少の時代において、地方公共団体のみで増加する高齢者の暮らしの支えることは極めて困難であるため、市は平成21年3月に「筑紫野市地域コミュニティ基本構想」を策定し、住民自治の担い手となる地域コミュニティ組織を全11小学校区で形成する方向性を掲げ、住民自治の基盤づくりを進めてきたが、令和5年度末までに発足した地域コミュニティ組織は7組織に留まっており、更なる促進が求められている。 また、災害関連死の多くが高齢者の間で生じているという現状を踏まえると、少子高齢化が進む中にあることは、高齢者をはじめとした災害弱者の生命や財産をまもる強靱な都市基盤の形成、防災対策が不可欠なものとなっている。平成22年(浸水被害21棟)、平成26年(浸水被害96棟)、平成30年(浸水被害71棟)と以前から幾たびとなく本州市街地を襲ってきた浸水被害については、高尾川床上浸水対策特別緊急事業(平成27年〃)により一定の改善が見られるものの、警固断層上に位置する本市の地理的特性から、平成28年の熊本地震や令和6年1月の能登半島地震等を教訓とした堅牢かつ長期の運用に耐えうる防災拠点の整備等の更なる災害対策が求められている。 国立社会保障・人口問題研究所による「日本の地域別将来推計人口(令和5年(2023)年推計)」によれば、将来的には本市においても人口減少が進むものと見込まれており、人口減少を抑制するため、出生率の向上による自然増はもとより、移住・定住の促進による社会増を図る必要が生じている。こども基本法に則した少子化対策により、こどもを生み育てやすいまちづくりを進めるとともに、本市のまちづくりや地域づくりの担い手となり、ひいては本市への移住者ともなり得る関係人口、交流人口の創出による社会増対策を講じる必要が生じている。
課題 ・超高齢社会のもと、持続可能なまちを形成するためには、地域住民が主体的にまちづくりに参画する力強い地域コミュニティが不可欠となっているが、これら活動の場や拠点が充足していないため、コミュニティ形成が停滞している。 ・令和6年能登半島地震や平成30年九州北部豪雨など大規模自然災害が頻発する近年の状況を踏まえ、市民の生命をまもる災害への備え、強靱なまちづくりが急務となっている。 ・コロナ禍の終息後、円安等の為替相場も追い風となって、九州地方、福岡県を訪れる観光客、インバウンドは増加基調で推移しているが、残念ながら本市はその恩恵を十分に被ることができていない。観光立国の実現に貢献できるよう観光資源の回遊性と魅力向上のための環境整備が求められている。
将来ビジョン(中長期) ①第七次筑紫野市総合計画(2024-2027)(令和5年度策定) ・地域コミュニティによるまちづくりー地域住民によるコミュニティが主体となった地域課題の解決、地域の魅力をいかしたまちづくりの推進ー ・防災・減災対策の推進ー行政、市民、地域コミュニティの連携による防災対策の推進ー ・観光の振興・市の魅力の発信ー観光資源の相互連携と有効活用 観光客や移住者の増加、地域コミュニティ活動の活性化に寄与する情報発信ー ②筑紫野市地域コミュニティ基本構想(2009-) (平成21年策定) 【コミュニティづくりの方向性】 ・コミュニティの基盤と組織運営ー地方分権の時代に対応した住民自治の担い手となる地域コミュニティ組織の整備ー ・コミュニティの区域ー子どもや高齢者などの生活圏かつ歩いて移動が可能な範囲かつ子どもをハブとした地域内の人の繋がりを目指した小学校区を基本とした地域コミュニティの形成ー ③～デジタル田園都市国家構想の実現に向けた～第3期筑紫野市まち・ひと・しごと創生総合戦略(2024-2027)(令和5年度策定) ・政策1 まちに活力をもたらす産業の振興と雇用の創出ー地域に活力をもたらす産業・雇用の創出、専門人材の確保・育成、働きやすい魅力的な就業環境と担い手の確保ー ・政策2 まちの魅力の向上と新たな人の流れを促す情報発信ー関係人口の創出・拡大、若者の就学・就業の推進、地方への資金の流れの創出・拡大ー ・政策3 子どもを生み育てやすいと感じるまちづくりー結婚・出産・子育ての支援、仕事と子育ての両立、地域の実情に応じた取り組みの推進ー ・政策4 安全安心な暮らしを守る、時代にあった地域づくりー質の高い暮らしのためのまちの機能の充実、地域資源を活かした個性あふれる地域の形成、安心して暮らすことができるまちづくりー

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
地域主体のまちづくりの進捗度	%	市民アンケートにより、「地域(コミュニティ、行政区等)においてまちづくりが進められている」と回答した人の割合	活力ある地域コミュニティが形成され、まちづくりの主体として活動することによって満足度が増加する。	65.3	R5年度	73.3	R11年度
防災・減災対策の満足度	%	市民アンケートにより、「防災・減災対策に満足している(満足・どちらかと言えば満足、普通)」と回答した人の割合	防災・減災対策を推進し、強靱な市街地を形成することによって満足度が向上する。	87.4	R6年度	90.0	R11年度
観光入込客数	千人	市観光入込客推計調査による観光入込客数	天拝山等の魅力と回遊性の向上を図ることによって、訪日外国人旅行者などの観光入込客が増加する。	1547	R4年度	1597	R11年度

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
【少子高齢化、人口減少時代における地域社会の基盤を担う活力ある地域コミュニティの形成】 ・地域の連携を深め、市民による自主的・主体的なまちづくり活動を育むとともに、自然災害発生時には市民の生命を守る防災拠点としても機能する地域交流センターを整備する。 ・地域交流センターの利用を図るとともに、自然災害発生時の避難路を確保するため、周辺道路を改良する。	【基幹事業】（道路）市道龍頭線改良事業 【基幹事業】（道路）市道立明寺・堀池線改良事業 【基幹事業】（高次都市施設 地域交流センター）二日市コミュニティセンター整備事業 【基幹事業】（高次都市施設 地域交流センター）二日市北コミュニティセンター（仮称）整備事業
【市民生活と事業活動を支える 強靱かつしなやかな地域づくりの推進】 ・地域の連携を深め、市民による自主的・主体的なまちづくり活動を育むとともに、自然災害発生時には市民の生命を守る防災拠点としても機能する地域交流センターを整備する。 ・過去、幾度も浸水被害に見舞われた二日市地域における排水機能の向上と流下阻害の解消を図るため、道路、橋梁の改良工事を行う。 ・自然災害が発生した際、効率的かつ効果的に避難所を運営するため、避難所運営システムを導入する。	【基幹事業】（道路）市道龍頭線改良事業（再掲） 【基幹事業】（道路）市道立明寺・堀池線改良事業（再掲） 【基幹事業】（道路）市道鯉石・天神田線改良事業 【基幹事業】（道路）市道粕井手・下の迎1号線改良 【基幹事業】（道路）市道粕井手・下の迎2号線改良 【基幹事業】（地域生活基盤施設 備蓄倉庫）二日市 【基幹事業】（地域生活基盤施設 備蓄倉庫）二日市北 【基幹事業】（高次都市施設 地域交流センター）二日市コミュニティセンター整備事業（再掲） 【基幹事業】（高次都市施設 地域交流センター）二日市北コミュニティセンター（仮称）整備事業（再掲） 【提案事業】（地域創造支援事業）避難所環境整備事業
【郷土愛を育み、新たな交流人口を創出する回遊性に優れた魅力ある滞留空間の創出】 ・少子高齢化、人口減少の時代を見据え、地域コミュニティ及び地域経済の活性化に大きく寄与する交流人口、関係人口の拡大を図るため、天拝山及び周辺地域の魅力向上を図る。 ・観光入込客等の交流人口、関係人口の拡大を図るため、二日市駅、西鉄二日市駅等の交通結節点から天拝山、吹田温泉（二日市温泉）までのアクセス経路を整備する。	【基幹事業】（道路）市道清川・大の町線改良事業 【基幹事業】（道路）市道下町・堀池線改良事業 【基幹事業】（道路）市道湯町・岩永坂線改良事業 【基幹事業】（道路）市道湯町・名元線改良事業 【基幹事業】（道路）市道湯町線改良事業 【基幹事業】（高質空間形成施設 カラー舗装）市道下町・堀池線改良事業 【基幹事業】（高質空間形成施設 カラー舗装）市道湯町・岩永坂線改良事業 【基幹事業】（高質空間形成施設 カラー舗装）市道湯町・名元線改良事業 【基幹事業】（高質空間形成施設 カラー舗装）市道湯町線改良事業 【関連事業】天拝山展望台リニューアル事業 【関連事業】天拝公園整備事業 【関連事業】天拝公園周辺整備事業（駐車場） 【関連事業】市道池の上線改良
その他	

様式(1)-④-2

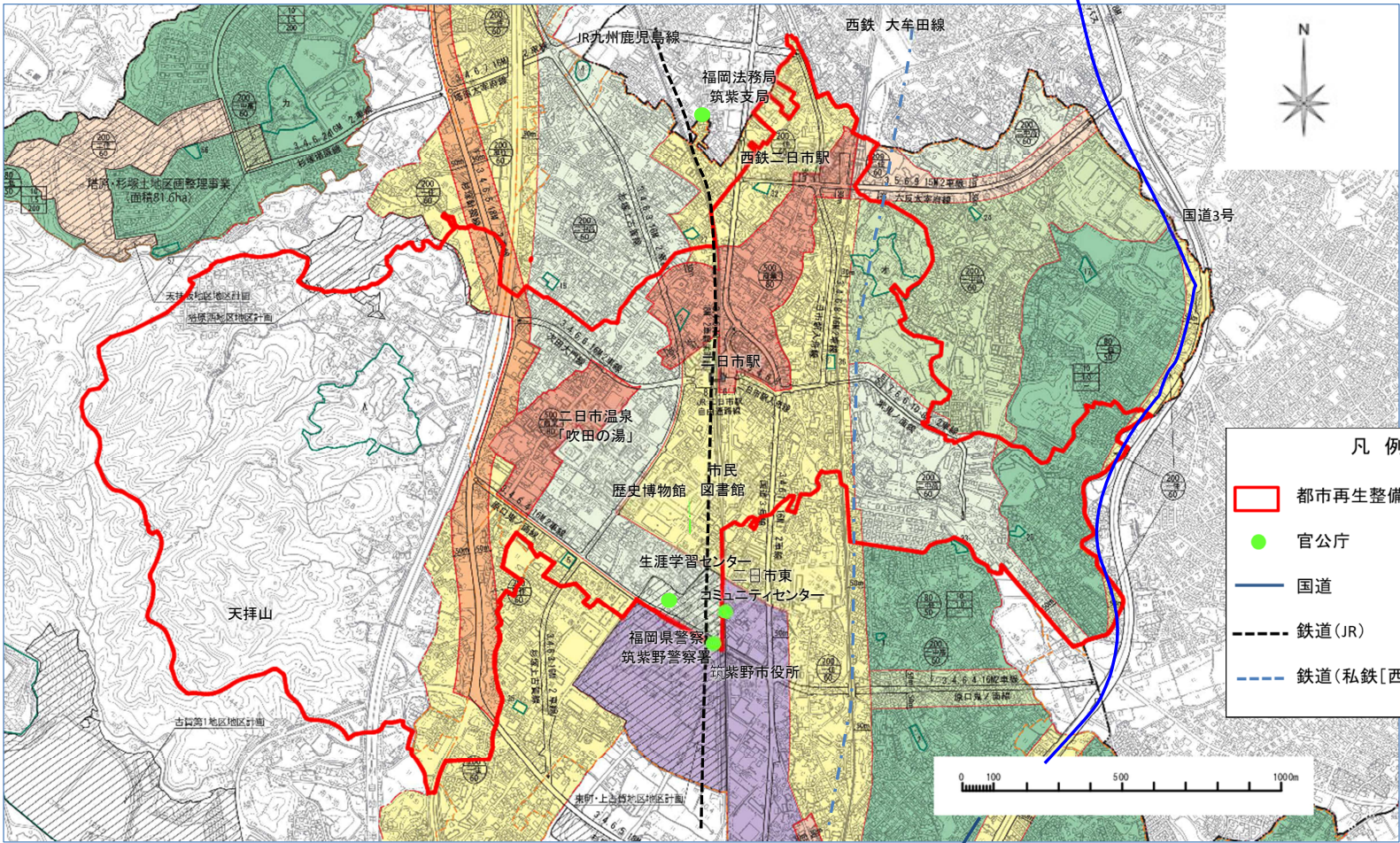
(金額の単位は百万円)

...A

...B

[illegible]

二日市地区(福岡県筑紫野市)	面積	395 ha	区域	塔原東1～3丁目の一部、塔原南1～3丁目の一部、二日市北1～8丁目、二日市中央1～6丁目の一部、二日市西1～4丁目、二日市南1～4丁目、武蔵1～5丁目、紫1～6丁目の一部、石崎1～2丁目の一部、大字武蔵の一部
----------------	----	--------	----	--



二日市地区(福岡県筑紫野市) 整備方針概要図(都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金))

目標	大目標 社会の変化に対応した安心と交流を育む都市基盤の形成	代表的な指標	地域主体のまちづくりの進捗度 (%)	65.3	(R5年度) →	73.3	(R11年度)
	目標1: 少子高齢化、人口減少時代における地域社会の基盤を担う活力ある地域コミュニティの形成		防災・減災対策の満足度 (%)	87.4	(R6年度) →	90.0	(R11年度)
	目標2: 市民生活と事業活動を支える 強靱かつしなやかな地域づくりの推進		観光入込客数 (千人)	1,547	(R4年度) →	1,597	(R11年度)
	目標3: 郷土愛を育み、新たな交流人口を創出する回遊性に優れた魅力ある滞留空間の創出						

